

療養病床の転換に関する進捗状況について

平成22年8月24日
高齢介護室施設課

大阪府地域ケア体制整備構想の進捗管理について

療養病床転換推進計画（療養病床転換計画表）（案）は、平成19年4月1日に現存する療養病床について、平成19年度から介護療養病床が平成23年度まで、医療療養病床が平成24年度までの間における転換過程を示すものであり、医療機関の意向調査の結果等を踏まえ、本構想策定時点における療養病床転換の見通しを示したものである。

療養病床の再編成は、今後の医療・介護保険制度改革の方向性や地域におけるニーズの動向、転換先の介護老人保健施設等における医療提供のあり方の検討結果等を踏まえ、医療機関の理解と協力を得て実現されていくものとされており、その進捗状況については、大阪府医療費適正化計画、大阪府介護保険事業支援計画（ふれあいおおさか高齢者計画）で管理を行っている。

<大阪府医療費適正化計画（P27）>【国民健康保険課】

○平成24(2015)年度末の療養病床の病床数

	H18.10.1 病床数	H24 年度末 目標値
医療療養病床	16,159 床	14,792 床
介護療養病床	7,879 床	(*) 0 床
計	24,038 床	14,792 床

(*) 平成23年度末で廃止

<大阪府介護保険事業支援計画（ふれあいおおさか高齢者計画2009）（P173）>【高齢介護室】

○指定介護療養型医療施設（介護療養病床）

	平成21年度	平成22年度	平成23年度
必要入所定員総数 (施設整備目標量)	5791 人分	4604 人分	4017 人分

<直近の療養病床数>【医療療養：保健医療室医事看護課、介護療養：高齢介護室施設課】

	H22.4.1 病床数	H22.7.1 病床数
医療療養病床	19,361 床	19,588 床
介護療養病床	4,244 床	4,098 床
計	23,605 床	23,686 床

<療養病床再編成に関する状況>

○平成22年4月1日の各療養病床の病床数を平成18年10月と比較すると医療療養病床は3,202床増加、介護療養病床は3,635床減少している。なお、介護療養病床の減少分の約9割が医療療養病床に変更されている。

○平成21年11月の衆議院予算委員会で長妻大臣が「入院患者が介護保険施設に移るの見届けるまでは、療養病床の削減を凍結し、法律で23年度末となっている介護療養型の廃止も猶予を含めて検討したい。」と政府方針の見直しについて言及した。

現在、国では、既に実施した実態調査（転換意向調査及び医療施設・介護施設の利用者に関する横断調査）の結果を踏まえて計画の見直しを検討しているとのことであるが、政府方針が明らかに示されていないことから、療養病床の転換は実質的に凍結状態となっている。